

情報提供日	平成 29 年 (2017 年) 8 月 28 日
問い合わせ先	土木交通部交通政策室 交通安全課 (小田垣)
	918-5036 (ダイヤルイン) 内線 2670

報道機関 各位

明石オリジナルの「交通安全ガイドブック (高齢者編)」を発行 ～1万冊を交通安全教室などで配布～

明石市内の交通事故件数は減少傾向にありますが、高齢者の関係する事故の割合は増加傾向となっています。このたび、高齢者の事故の抑止を目的に明石オリジナルの「交通安全ガイドブック (高齢者編)」を発行しました。

今後、高齢者を対象とした交通安全教室などで配布し活用していきます。

記

- 1 配布対象 交通安全教室参加者、高年クラブ、独居高齢者を訪問する民生委員など
- 2 作成部数 10,000 部
- 3 内 容 高齢者によく見られる事故の特徴や注意点を、イラストを交えながら分かりやすく紹介しています。
- 4 その他 ガイドブックは交通安全課で配布するほか、市ホームページでもダウンロードできます。



交通安全ガイドブック (高齢者編)

よくおこる交通事故を知る

1. 横断中の事故
2. 自転車の事故
3. 交差点の事故
4. 夜間・薄暮の事故

明石市

① 道路横断中の事故が多いわけ

【なぜ交通事故になるのか?】

- ① 若い頃のように機敏に動けない (運転機敏の低下)
- ② 車との距離感がつかめない (視認機敏の低下)

さらに・・・

- ③ 斜め横断で車道にいる時間が長くなるつまり、危険な時間が長い!

その結果・・・

道路を渡り終える直前の事故が多く発生!

② 事故につながる自転車運転

【こんな運転してませんか?】

- ① 一時不停止、信号無視
- ② ふらつき運転 (傘さし・荷物の積み過ぎ等)
- ③ 無理な横断
- ④ 車道の真ん中走行

こんな運転をしていると交通事故に遭い、自分などの大けがだけでなく事故になる場合もあるんです・・・

自転車の交通ルールはしっかり守らなくちゃダメな・・・

自転車を利用する前に・・・

体力や反射神経は衰えてきます。「大丈夫」と思っている人は、ぜひチェックしてください。

③ 危険! 「自宅近くの交差点」

夕暮れ時はアツという間に暗くなります。自分からは見えていても、周囲からは意外にあなたが見えていません。「相手が自分に気づいていないかも」という意識を持ちましょう。

【事故の多くは自宅近くで発生!】

慣れた道ほど「車は来ないだろう」、「大丈夫だろう」と油断しがちです。特に交差点では、しっかりと「止まる・見る・待つ」を意識しましょう。

チェック! 思い込みは事故を招きます。下の図で目の思い込み(錯視)を試してみましょう。(※又は次のページ参照)

1. 黄色のO、どちらが大きい?
2. どちらが長い?



④ 夕方、早朝は特に危険!

【油断大敵!】

夕暮れ時はアツという間に暗くなります。自分からは見えていても、周囲からは意外にあなたが見えていません。「相手が自分に気づいていないかも」という意識を持ちましょう。

反射材つけて安心 晴いえち

【次のことを心がけて!】

- ☆ 自分の存在を知らせる
 - ・明るい色の服装
 - ・反射材の活用
- ☆ できるだけ明るい道を走る

(※夜の道の見え方、どちらにも同じくが主眼です。)

事故にあわないために大切なこと

危険です! 「自分は大丈夫」

運あうと思って事故に遭う人はいません。自分は大丈夫と思わず、自分は気をつける!

横断中は特に注意!!

曲がってくる車やルールを守らない人がいるかもしれません。油断しないで安全を確認しましょう。

一時停止はしっかり確認を

基本に戻って、「とまる・みる・まつ」しっかり確認することが大事です。

反射材などの有効活用

白昼から反射材の活用を心がけましょう。またライトは前を照らすだけでなく、相手に自分を見つけてもらう役割もあります。